

# お互いの人権を大切にしましょう

～新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について～

感染された方やその家族、医療関係者、県外からの来訪者等に対して不当な差別、いじめ、偏見等があってはなりません。また、インターネットやSNS等への差別的な書き込み、うわさ話など不確かな情報や個人情報の拡散等は人権侵害につながる行為です。

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染者や濃厚接触者になる可能性があります。多くの方が、不安や心配な気持ちを抱えています。一人ひとりがお互いのことを考え、不確かな情報に惑わされて人権侵害につながることはないよう、県や市町村などの公的機関が発表する正しい情報に基づき、人権に配慮した冷静な行動をお願いします。

## 〈新型コロナウイルス感染症に関連した人権相談窓口〉

### ■ 島根県人権啓発推進センター

新型コロナウイルス人権相談専用 ☎ 0852-22-7704 (平日8:30～17:15)

### ■ 法務省 ○みんなの人権 110番

☎ 0570-003-110 (平日8:30～17:15)

○子どもの人権 110番

☎ 0120-007-110 (平日8:30～17:15)

○女性の人権ホットライン

☎ 0570-070-810 (平日8:30～17:15)

○外国語人権相談ダイヤル

☎ 0570-090-911 (平日9:00～17:00)

～ 秘密は守られます。お困りのことがありましたらご相談ください。～

【問い合わせ先】 益田市人権センター ☎ 31-0412

## 日本遺産のまち益田の歩き方

### 第14回 医光寺

最大の見どころは雪舟作とされる庭園で、国の史跡及び名勝に指定されています。中国における理想郷の一つ、蓬莱島が表現されているといえます。鶴の形をした池に亀の形をした島が浮かび、枝垂桜の咲く季節が特に人気ですが、四季折々に違った美しさを見せます。

## 【問い合わせ先】

益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会  
文責：市文化財課 ☎ 31-0623

医光寺は臨済宗東福寺派の寺院で、崇観寺を前身とします。

崇観寺は、斎藤長者の妻直山妙超大姉の発願により、龍門土源を開山（創建時の住職）として、貞治2（1363）年に現在の医光寺の西側に開かれたといわれています。応安4（1371）年には益田兼見を大檀那（スポンサー）として本尊の木造釈迦如来坐像が制作されており、以後、益田氏の庇護を受けました。益田兼見は、崇観寺を益田氏が特に大切にすべき寺院と位置づけ、室町幕府に働きかけて諸山（禪宗寺院で五山・十刹に次ぐ格）にしたと記しています。

崇観寺はなんらかの理由で戦国時代に衰退し、益田宗兼が医光寺を後身寺院として再興しました。

医光寺の見どころは、庭園だけではありません。

車道に面した総門は、かつての七尾城の大手門であったと伝わり、その偉容は、益田氏の力の大きさを物語っています。本堂前の中門は江戸時代のもですが、装飾が非常に凝っており、時代による好みの違いがよくわかります。

また、本堂や開山堂には、先述の木造釈迦如来坐像など、多くの中世以来の仏像・僧侶像が安置されています。江戸時代に制作された、迫力のある十六羅漢像もあり、荘厳な空間となっています。

### 場 染羽町4番29号

石見交通バス各路線のバス  
医光寺バス停から徒歩すぐ



医光寺の総門  
七尾城の大手門であったと伝わる。